

ブラジル金融政策（2021年3月）

市場予想を上回る0.75%ポイントの利上げ

2021年3月18日

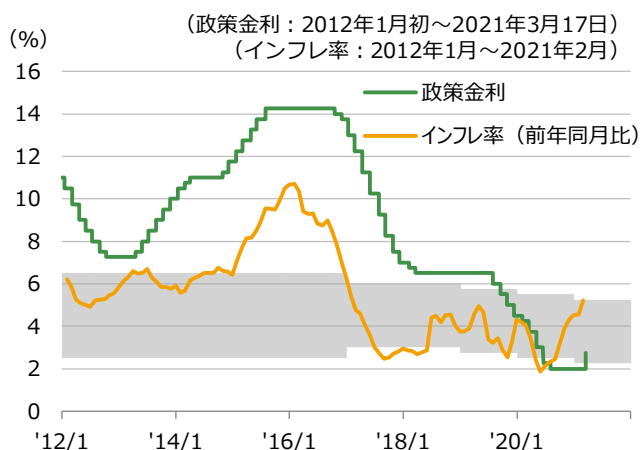
インフレ抑制のための積極的な利上げがレアルの下支えに

ブラジル中央銀行は3月17日（現地）、政策金利を2.00%から2.75%へ0.75%ポイント引き上げを全会一致で決定したと発表しました。市場予想の0.50%ポイントを上回る利上げ幅です。

ブラジルでは新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、経済見通しは依然として不確実性が高い状況です。こうした中で利上げを実施することになった理由として、資源価格の上昇などによって様々なインフレ指標が目標の達成と整合的でない水準まで上昇していることが挙げられています。また、迅速かつ大幅な利上げは、2021年にインフレ目標を達成できない可能性を低下させるとともに、長期のインフレ期待を安定させる利点があると説明されています。更に、次回会合では、インフレ見通しやそのリスクバランスに大きな変化がなければ、今回と同じ幅の利上げを実施することが示唆されており、市場の想定を上回るペースで極端な低金利政策の修正を行うことになりそうです。

昨年新型コロナウイルス問題の発生時は、需要の急減や原油価格の急落によってインフレ懸念が乏しくなっていたため、ブラジル中銀は通貨安を容認し、経済を支えるために利下げを進めることができました。しかし、現在はインフレ懸念が台頭しているため、通貨安を容認できなくなっています。ブラジル中銀が景気回復よりもインフレ抑制に重点を置き、積極的に利上げを進める意向を示していることは、レアルの下支え要因になると考えられます。

政策金利とインフレ率



※陰影部はブラジル中銀によるインフレ目標のレンジ

(出所) ブルームバーグ

ブラジル・レアルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。